★第3期国民健康保険データヘルス計画進捗状況 (R6事業実績)

【評価】S:目標達成 A:改善 B:大きな変化なし C:悪化

項目	目標	評価指標	計画策定時	目標	対応する保健事業		【参考】R5※			R6		
			R4 (2022)	R11 (2029)	番号	事業名	目標	実績	評価	実施内容	アウトプット	見直し・改善の案
A・B	糖尿病の発症予防	★高血糖者の割合 (HbA1c6.5%以上の者の割合)	9.5%	9.2%以下	3	糖尿病性腎症重症化予防	減少	9.4%	S	①糖尿病の治療中断者に対する受診勧奨 対象者：糖尿病治療歴があり最近1年間に受診歴のない者 内容：専門職が電話や訪問による医療機関への受診勧奨を実施。 ②医療機関と連携した保健指導 対象者：滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準じ、前年度特定健診受診者より抽出 内容：治療中のハイリスク者に対し、かかりつけ医と連携しながら、専門職による6か月間の保健指導を実施。	①医療機関受診勧奨 訪問 5件 ②保健指導利用率 8.3% (対象者12名、保健指導実施者1名)	①当初計画より実施時期が遅れたため、実施数が少なかった。次年度は早い時期に事業開始し、経過を長期的に確認できるように努める。 ②協力を得られる医療機関は徐々に増えている現状であり、引き続きかかりつけ医との連携を強化していく。
		★HbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	10.6%	10.0%以下			—	14.2%	C			
	糖尿病の重症化予防	★HbA1c8.0%以上の者の割合	1.0%	1.0%以下	4	ハイリスク者に対する医療機関受診勧奨事業	維持	1.0%	S	対象者：特定健診結果の要医療者の内ハイリスク者 内容：・対象者のうち、受診確認のできない者に再度受診勧奨通知を送付。 ・再勧奨後も医療機関受診の確認できない者で優先順位の高い者に対し、専門職から電話勧奨を実施。	・受診勧奨通知数(再勧奨)：334人(142人)	・再勧奨者に受診の必要性を理解いただくため、優先順位の高い対象者への電話勧奨を継続して実施するとともに、再勧奨通知の方法等を検討する。
C	医療機関受診勧奨判定値以上の者を医療機関につなぐ	医療機関受診勧奨判定値以上のハイリスク者の医療機関受診率	80.5%	85%以上	5	高血圧対策事業	81%	82.8%	S	対象者：40歳以上の被保険者で特定健診受診者 内容：・健診結果でⅡ度高血圧以上で医療機関の受診のない者に対して電話・訪問にて受診勧奨を実施。 ・集団健診にて尿ナトリウム比の測定を行い、保健指導を実施するとともに、血圧要受診者に対しても健診会場にて指導を実施。 ・血圧で要指導判定値以上の方を対象に、血圧に関するグループ支援を信楽保健センターで2回実施。	・受診勧奨実施数：電話46件、訪問2件(集計途中) ・集団健診での保健指導実施数：48人 ・グループ支援実施回数・参加者数：2回・7人	・今年度から実施した集団健診会場での保健指導は比較的若い年齢層にアプローチできる良い機会であるため、効果的に意識付けができるよう工夫し、今後も継続して実施していく。 ・信楽で実施のグループ支援を他の地域でも実施する。
	血圧160/100mmHg以上の者の減少	血圧160/100mmHg以上の者の割合	6.7%	減少			減少	7.6%	C			
D	特定健康診査受診率の向上	★特定健康診査受診率	45.6%	60%	1	特定健診受診率向上事業	48%	43.1%	C	対象者：40～74歳の被保険者 内容：未受診者対策として、特性に応じた受診勧奨通知を年2回実施するとともに、専門職による電話での受診勧奨を実施した。今年度より、受診勧奨通知にQRコードを付け、未受診理由を回答いただくアンケートもあわせて実施した。前期高齢者では医療機関へ通院をされている方が多いため、引き続き、健診未受診者の治療中患者情報の提供など、医療機関との連携を図った。	・勧奨通知回数：2回実施 延べ12,712件 ・勧奨電話件数：82件	・受診者数の少ない8、9月の受診者数を増やすため、1回目の勧奨通知の時期を前倒しして、集団健診にあわせて8月に送付する。 ・対象者について、受診率の低い40、50代と3年連続未受診者等へのアプローチを強化する。
		★40歳代健診受診率	23.4%	25%以上			24%	22.4%	C			
		★3年連続未受診者割合	37.5%	35%以下			35%以下	37.7%	C			
		★特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合	39.1%	35%以下			39%	38.6%	S			
D	がん検診の受診率向上	がん検診受診率(胃がん)	4.2%(R3)	5.0%	6	がん検診受診率向上事業	4.5%	5.6%(R4)	S	対象者：40歳以上の市民(子宮頸がんは、20歳以上の市民) 方法：本人の希望に沿った場所や日程を選択できるような様々なパターンを準備し、電話予約の他、WEB予約も取り入れる等、受診しやすい環境づくりに努めた。集団検診では、基本健診や特定健診との同時受診や、土曜、平日夜間の受診、また託児も可能なレディースデーも設定し、受診者の利便性向上を図った。 あわせて、対象者に対し勧奨はがき等による受診勧奨を行い、受診率向上に努めた。	・対象者への個別通知：延べ31,016件 ・集団検診のWEB予約率：76%	・がん検診の受診の必要性を啓発し、初回受診者を増加させるための取組を強化する。 ・市民、地域・事業所とともに取組める体制を築くため、がんについての現状を地域や関係団体等に発信していく。
		がん検診受診率(大腸がん)	3.9%(R3)	8.6%			4.7%	3.9%(R4)	B			
		がん検診受診率(肺がん)	2.9%(R3)	5.8%			3.5%	3%(R4)	A			
E	特定保健指導実施率の向上	★特定保健指導実施率	27.0%	35.0%	2	特定保健指導実施率向上事業	28.0%	31.0%	S	対象者：動機付け支援対象者、積極的支援対象者 内容：委託業者から複数回電話勧奨を行い、連絡がとれなかった者に対しては、市の専門職による再勧奨を実施。 積極的支援については、委託業者及び市専門職からの勧奨に併せ、保健センターの保健師が訪問等による利用勧奨を行い、動機付け支援については、グループ支援を実施し、利用率の向上を図った。	・専門職による未利用勧奨件数：委託業者218件、保険年金課27件、保健センター17件 ・グループ支援実施回数・参加人数：4回、7人	・特定保健指導の業者委託について、実施数が低下しているため、より効果をあげられるよう、実施方法等を見直す。 ・信楽地域での健診結果説明とあわせて保健指導が実施率向上に有効なため、他地域での実施に向けて医療機関との調整を行い、早期の実施につなげる。
		★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	20.3%	26%以上			21.0%	17.8%	C			
		★血圧が保健指導判定値以上の者の割合	53.6%	44%以下			—	54.3%	C			
	メタボリック該当者・予備群の割合の低下	メタボリック該当者・予備群の割合(男性)	52.7%	43%以下	7	生活習慣の改善支援事業	52.0%	53.4%	C	対象者：40～74歳の被保険者 内容：・特定健診受診者から抽出したメタボリック症候群該当者、予備群を対象に、運動指導士による運動教室を2回実施。 ・運動習慣のある者を増やすため、健康ウォーキングアプリ【BIWA-TEKU】の利用促進を図った。	・運動教室の実施回数・参加者数：2回、15人 ・BIWA-TEKUの登録者数：866人	・現状の直営での実施だけでなく、民間事業者等への委託も含め、事業拡充について検討する。 ・【BIWA-TEKU】の利用促進のため、関係各課と連携し、スタンプラリーのコースやポイント加算イベント等の登録数を順次増やしていく。
メタボリック該当者・予備群の割合(女性)	16.9%	14.5%以下	16.5%	17.5%			C					
	運動習慣のある者の割合の増加	運動習慣のある者の割合	38.4%	44%以上			39.0%	38.7%	A			
	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合の増加	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	74.8%	80%以上	8	歯・口腔の健康づくり事業	75.0%	集計未	—	対象者：30～70歳の市民で歯の治療中でない者 方法：歯科検診、パノラレントゲン撮影、歯科相談の歯周疾患検診を実施した。 あわせて、30歳以上の市民への個別通知等により受診勧奨を実施し、受診率向上に努めた。	・歯周疾患検診の受診勧奨：973件	・歯周疾患検診の周知(若年層と中高年)を行うとともに、受診しやすくなるよう歯科医師会とも協議を進めていく。

★印は、滋賀県・市町国保の共通目標

※R6年度実績数値は未確定のため

中長期目標	新規透析導入患者数の減少	新規透析導入患者数	17人	減少
			心疾患による死亡者の減少	標準化死亡比(EBSMR)を100に近づける
	脳血管疾患による介護保険認定2号被保険者数の減少	脳血管疾患による介護保険認定2号被保険者数(割合)	33人(47.8%)	減少

【参考】R5※

中長期目標	34人	C
	男性 107.2	C
	女性 126.6	C
	29人(50.0%)	B

★第3期国民健康保険データヘルス計画進捗状況（R7年度事業実施計画）

項目	目標	評価指標	計画策定時	R7目標値	目標	対応する保健事業				
			R4 (2022)		R11 (2029)	番号	事業名	実施内容 (○新規、◇拡充)	アウトプット目標	
A・B	糖尿病の発症予防	★高血糖者の割合 (HbA1c6.5%以上の者の割合)	9.5%	減少	9.2%以下	3	糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病性腎症予防プログラムに基づく保健指導・医療機関受診勧奨 ○治療中断者への医療機関受診勧奨：前年度より前倒して実施し、実施者数を確保するとともに、経過を長期的に確認していく。 ○医療機関と連携した保健指導：引き続き、かかりつけ医との連携強化を図り、保健指導につながるよう努める。	治療中断者及び未受診者への勧奨実施率：100% 保健指導利用率：30%	
		★HbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	10.6%	—	10.0%以下					
	糖尿病の重症化予防	★HbA1c8.0%以上の者の割合	1.0%	維持	1.0%以下	4	ハイリスク者に対する医療機関受診勧奨事業	○特定健診結果時の受診勧奨 ○ハイリスク者で医療未受診者への再勧奨通知：受診確認できないハイリスク者に対し、受診の必要性を理解いただけるよう工夫し、再度勧奨通知を実施。 ○再勧奨後医療未受診者への専門職による電話勧奨：再勧奨後も受診確認できない者の内、優先順位の高い方には、専門職より電話勧奨を実施し、受診しない理由等も聴き取りを行う。	対象者への受診勧奨実施率：100%	
C	医療機関受診勧奨判定値以上の者を医療機関につなぐ	医療機関受診勧奨判定値以上のハイリスク者の医療機関受診率	80.5%	82%	85%以上	5	高血圧対策事業	◇Ⅱ度高血圧以上の未受診者に対する医療機関受診勧奨：健診結果にてⅡ度高血圧以上で未受診者に対し、電話・訪問にて受診勧奨を実施。前年度より開始時期を前倒して、電話・訪問による保健指導を行い、3か月後の経過確認も行う。 ○集団健診における尿ナトリウム測定 ◇血圧要受診者等に対する保健指導：①集団健診時に血圧要医療者（Ⅰ度高血圧以上）に保健指導を実施し、実施した方には案内を送付し、結果説明会を実施。②血圧で要指導判定値以上の方を対象にグループ支援を実施。信楽地域のみでの実施であったものを、他地域でも実施する。	集団健診会場での保健指導実施数：50人 グループ支援実施回数：4回	
	血圧160/100mmHg以上の者の減少	血圧160/100mmHg以上の者の割合	6.7%	減少	減少					
D	特定健康診査受診率の向上	★特定健康診査受診率	45.6%	50%	60%	1	特定健診受診率向上事業	○被保険者の特性に応じた未受診者勧奨：特定健診未受診者に対し、特性に応じた受診勧奨通知を年2回送付。 ◇特定健康診査動機づけ事業（スマホDEドック）：35～39歳の被保険者対象のセルフ健康チェックの実施。今年度より、実施者のうち要指導の方を対象に医師による健康相談サービスを追加。 ○人間ドック・脳ドック受診費補助 ◎YouTubeでの動画広告：がん検診とあわせて、特定健診受診を促す動画広告の実施。 ○啓発月間を設けて広報啓発 ◎協会けんぽとの集団健診合同実施：今年度より協会けんぽで実施される集団健診にて国保の被保険者の受診も開始する。	勧奨通知回数：2回実施 勧奨電話件数：100件	
		★40歳代健診受診率	23.4%	24%	25%以上					
		★3年連続未受診者割合	37.5%	35%以下	35%以下					
		★特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合	39.1%	38%	35%以下					
がん検診の受診率向上	がん検診の受診率向上	がん検診受診率（胃がん）	4.2% (R3)	4.5%	5.0%	6	がん検診受診率向上事業	○受診しやすいがん検診の体制整備：日程や会場に様々なパターンを設け、電話とWebによる予約を実施。 ○特定健康診査等との同時実施：協会けんぽとの合同での集団検診を引き続き実施する。 ○個別検診の拡大 ○受診勧奨：集団がん検診申込開始時期に合わせ、個別勧奨通知を送付。その他、市広報誌やちらし配布、YouTube動画広告での啓発を実施。	・対象者への個別通知：3回実施 ・集団検診のWEB予約率：80%	
		がん検診受診率（大腸がん）	3.9% (R3)	5.5%	8.6%					
		がん検診受診率（肺がん）	2.9% (R3)	4.0%	5.8%					
E	特定保健指導実施率の向上	★特定保健指導実施率	27.0%	29.0%	35.0%	2	特定保健指導実施率向上事業	◇指導を受けやすい環境づくり（Webによる指導等）：実施率の低い40、50代に指導を受けていただけるよう、Webによる保健指導を拡充する。あわせて、指導を受けられた方へのインセンティブ（ポイントの贈与等）付与により保健指導への意欲向上を図る。 ○専門職からの電話による保健指導未利用者勧奨 ○指導を希望しない者への再アプローチ：勧奨実施後に未利用者の方を対象に参加案内を送付し、動機付け支援対象のグループ支援を実施（4回）。 ○保健センターと連携した保健指導対象の結果説明会：信楽地域での健診結果説明会とあわせて保健指導を引き続き実施する。あわせて、実施率向上に有効であるため、他地域での実施に向けて医療機関との調整を図る。	未利用者勧奨実施率：100% グループ支援実施回数：4回 グループ支援参加者数：15人	
		★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	20.3%	22.0%	26%以上					
		★血圧が保健指導判定値以上の者の割合	53.6%	—	44%以下					
	メタボリック該当者・予備群の割合の低下	メタボリック該当者・予備群の割合の低下	メタボリック該当者・予備群の割合（男性）	52.7%	50.0%	43%以下	7	生活習慣の改善支援事業	○アプリ「BIWA-TEKU」を使った健康ウォーキング「健康寿命を延ばそう事業」 ◇健康教室・健康相談：運動指導士による運動教室（2回）を引き続き実施するとともに、生活習慣改善を意識付けするため、血圧や体組成等の測定等を行う健康づくり教室（2回）を新たに実施する。	「BIWA-TEKU」アプリの登録者数（国保被保険者）：増加 運動教室の実施回数：2回 健康づくり教室の実施回数：2回
			メタボリック該当者・予備群の割合（女性）	16.9%	16.3%	14.5%以下				
運動習慣のある者の割合の増加	運動習慣のある者の割合	38.4%	40.0%	44%以上						
50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合の増加	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	74.8%	76.0%	80%以上	8	歯・口腔の健康づくり事業	○歯科検診、パノラマレントゲン撮影、歯科相談の歯周疾患検診の実施：30～70歳の市民に対し、歯科医院での歯周疾患検診を実施。 ○集団検診および特定保健指導時の保健指導実施：集団健診時および特定保健指導時等に歯、口腔の健康についてもあわせて啓発を行う。	歯周疾患検診受診勧奨件数：840件		

★印は、滋賀県・市町国保の共通目標

中長期目標	新規透析導入患者数の減少	新規透析導入患者数	17人	減少
	心疾患による死亡者の減少	標準化死亡比（EBSMR）を100に近づける	男性	100
			女性	100
脳血管疾患による介護保険認定2号被保険者数の減少	脳血管疾患による介護保険認定2号被保険者数（割合）	33人 (47.8%)	減少	